

地域高規格道路の役割

放送大学 新潟学習センター

所長 大川 秀雄

平成28年 8月27日

道路の歴史

けもの道 : 動物の移動に伴う道、狩猟民による利用

踏み分け道 : 人の移動に伴う、自然発生的な最も原初的な道
農耕が始まり人が定住・集団化→集落間の往来が発生
草木がかき分けられ、踏み分けられて出来た道

歩き安い、安全である、距離が短い経路



牛馬、車輪を持つ用具による人や貨物の搬送



経路が長くなっても傾斜が小さい、一定幅以上、ぬかるまない



舗装

発見された最古のものBC4000年頃

石畳	煉瓦畳	アスファルト	コンクリート
砂利	マカダム	ブロック	インターロッキング

石畳

古代エジプト(ex. **ギザの大ピラミッド** BC2540頃から
約20年で完成 **すでにあって建設に寄与**)

古代中国(BC1100年代以降街道を整備 AD20年
までに延長40,000km)

古代ローマ(ローマ街道 ex.**アッピア街道** BC312～
火山岩を利用)



インカ帝国(13世紀以降、1533スペイン領となる
アンデス山脈に張り巡らせた)



マヤ文明(大陸発見以前に道路網が存在)

アスファルト舗装

ローマ街道 AD300年頃～ **すべての道はローマに通ず**

馬車の走行が前提：まっすぐ、なだらか、**丈夫であること**

コンクリート舗装

アウトバーン 1913～1921年 ベルリン郊外にアヴス9km建設

1928～1932年 ケルンーボン間35km建設

1933年 ヒトラーの首相就任 700km計画発表・建設推進
最大12万人雇用、8時間労働、住居完備

クロソイド曲線の採用、ガソリンスタンド・休憩所の設置

自動車の走行：高速で走れること

道路の種類(道路法第三条)

「道路」とは、一般交通の
用に供する道(第二条)

①高速自動車国道

②一般国道

直轄国道、補助国道

③都道府県道

④市町村道

参考

私道、農道、林道、里道、公園道・園路
港湾法の道路

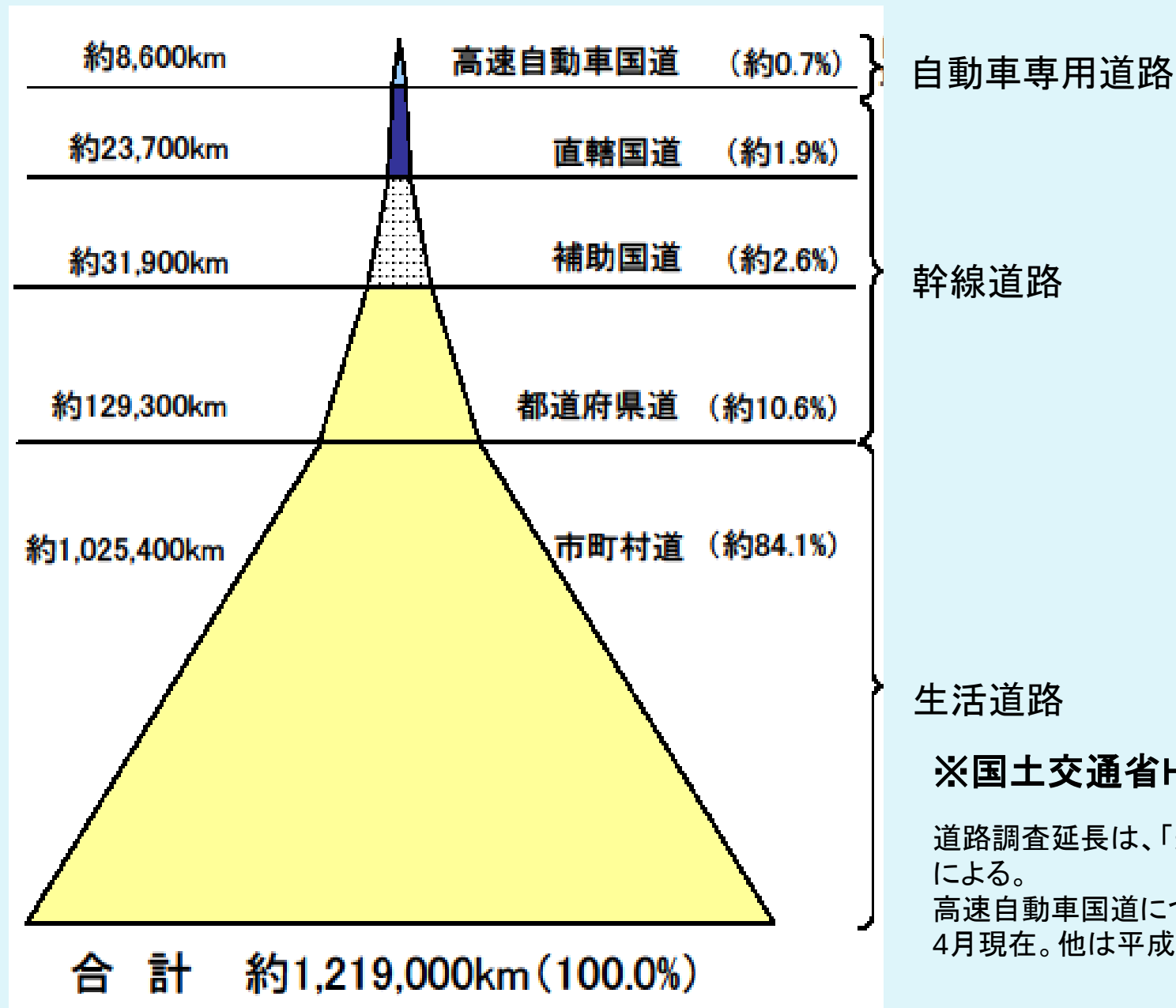
港湾内、あるいは港湾と周辺の公道を結ぶ道路
臨港道路あるいは港湾道(路)と呼ばれている

道路運送法の道路(第二条第八項)

自動車道路(左記以外の自動車専用道路)で
一般と専用がある

道路法の道路

道路種別と延長割合



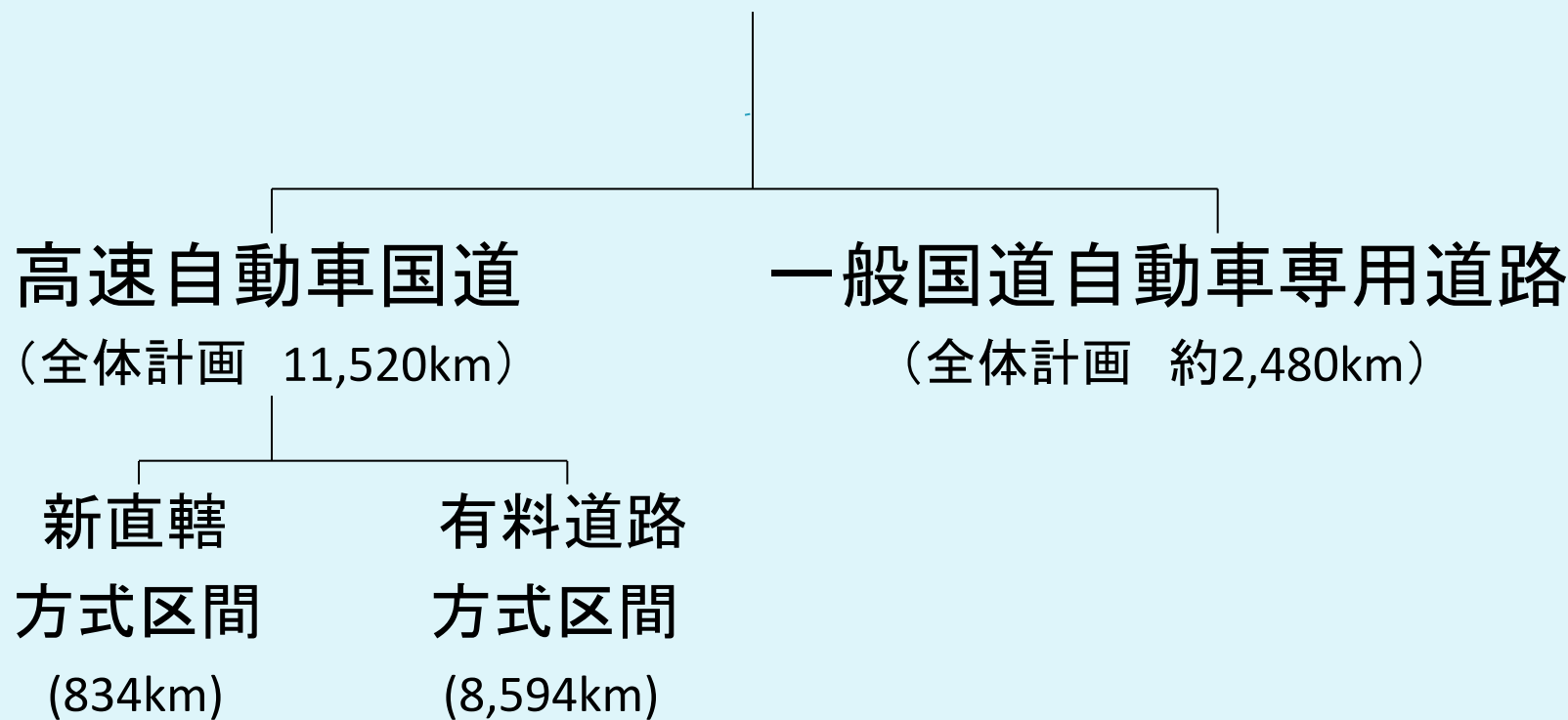
※国土交通省HP資料より

道路調査延長は、「道路統計年報2012」による。

高速自動車国道については、平成27年4月現在。他は平成26年4月1日現在。

高規格幹線道路の体系

高規格幹線道路（全体構想：約14,000km）



「地域高規格道路」とは(1)

- 国土や地域の骨格を形成し、広域の物流や交流を分担する**広域幹線道路**は、高規格幹線道路、一般国道、主要地方道から構成され、延長約12万キロに及ぶが、**自動車専用道路**として**高い走行サービスを提供する高規格幹線道路**と、その他の幹線道路では、走行速度等のサービスレベルに大きな格差がある。
- このため、**高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路**として整備することが望ましい路線を「**地域高規格道路**」として指定し、**自動車専用道路**もしくはこれと同等の規格を有し、概ね60km/h以上の走行サービスを提供できる道路として整備を行っている。

「地域高規格道路」とは(2)

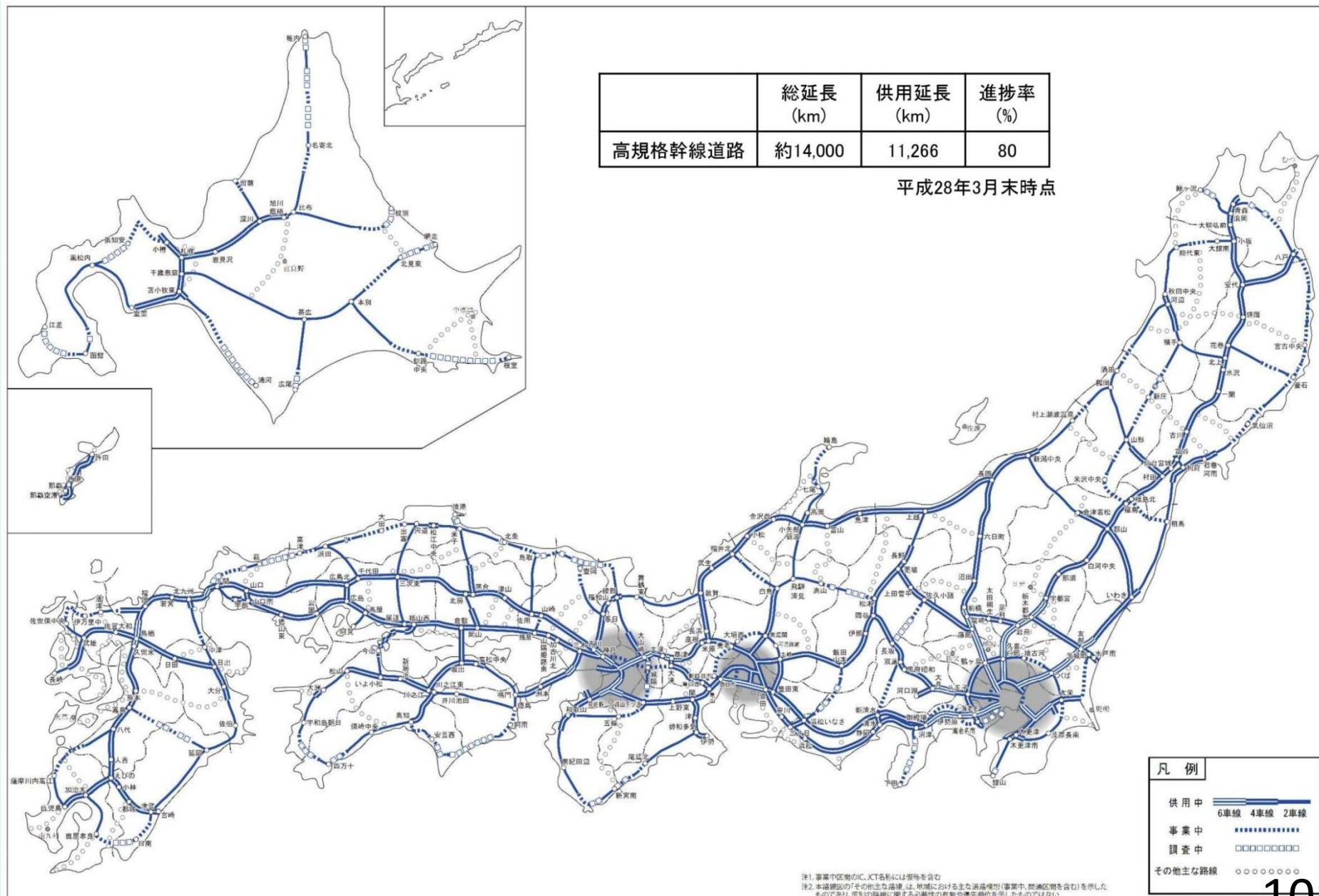
- これまで、平成6年12月及び平成10年6月の2回にわたり、地域高規格道路として整備を進めることの妥当性・緊急性等について基礎的調査を実施する路線を「候補路線」として、また、構造要件等を満足し、地域高規格道路として必要な整備を実施する路線を「計画路線」として、それぞれ指定している。
- さらに、「計画路線」として指定されたもののうち、整備のプライオリティ、調査の熟度、地域活性化への効果等を勘案し、
【調査区間】：ルート選定、整備手法、環境影響評価、都市計画等の調査を進める区間
【整備区間】：事業着手に向け、都市計画・環境影響評価手続き、予備設計等を進める区間
をそれぞれ指定し、所要の調査及び事業を行っている。
- 都道府県、政令指定市からの報告に基づき、平成16年3月30日付けで、「調査区間」16区間約136km、「整備区間」6区間34kmの指定を実施することとした。
なお、整備区間指定箇所については、費用便益分析等の事業評価を詳細に実施した上で、指定を行った。

高規格幹線道路の整備状況

※国土交通省HPより

	総延長 (km)	供用延長 (km)	進捗率 (%)
高規格幹線道路	約14,000	11,266	80

平成28年3月末時点



新潟県内の 高規格幹線道路 (平成28年3月末)



高速道路の名称

上段 : 東日本高速道路株式会社が決定する道路名称
下段 () : 国土開発幹線自動車道建設法の路線名

凡 例	
	供用区間
	供用区間(暫定2車)
	4車線化整備区間
	事業中区間 (高速自動車国道に並 行する一般国道自動 車専用道路)
	インターチャージ 7km、10km
	スマートIC 7km、10km
	スマートIC(整備中)

(平成28年3月末現在)

金沢外環状道路(Ⅱ期)

金沢外環状道路(Ⅱ期)

上記は今後の道路整備のマスタープランであり、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

凡		例
広域 道路	高規格幹線道路	  供用及び整備計画区間 (事業中間区含む) 基本計画及び 予定路線区間
	交流促進型	 本線のトラフィック機能確保のため 整備の目標として特に構造的な強化 を図ろうとする道路
	地域形成型	 沿道からのアクセス性に配慮した (本図では主要な道路のみ表示)
	検討区間	 路線構造について今後検討する区間

	凡	例
地域高規格道路	候補路線	●●●●●●●●●●
	計画路線	■■■■■■■■■■
	調査区間	●●●●●●●●●●
	整備区間	■■■■■■■■■■
	今回整備区間	■■■■■■■■■■

(平成26年3月末現在)



新潟県内の地域高規格道路

新潟県HPより編集

路線名	起点～終点	整備区間	
		指定年月日	現在の延長（供用延長）km
新潟山形南部連絡道路	村上市荒川～山形県東置賜郡高畠町	平成 8 年 8 月 30 日	5
		平成 11 年 12 月 17 日	4 (4)
		—	—
新潟東道路	新潟市～新潟市	—	—
新潟海岸幹線道路	新潟市～新潟市	—	—
新潟南北道路	新潟市～新潟市	平成 7 年 4 月 28 日	1 (1)
			2 (2)
		平成 19 年 3 月 30 日 平成 23 年 4 月 1 日	1 1
新潟東西道路	新潟市～北蒲原郡聖籠町	平成 10 年 12 月 18 日	36 (36)
		—	—
長岡東西道路	長岡市～長岡市	平成 9 年 9 月 10 日	3 (3)
上越魚沼地域振興 快速道路	上越市～南魚沼市	平成 10 年 12 月 18 日	2 (2)
		平成 8 年 8 月 30 日 平成 10 年 12 月 18 日	9 (5) 7
		平成 9 年 9 月 10 日	10
松本糸魚川連絡道路	長野県東筑摩郡波田町～糸魚川市	—	—
		—	—

松本糸魚川連絡道路

長野自動車道

安曇野北IC(仮称) ～

長野県内 約80km

北陸自動車道

糸魚川IC

新潟県内 約20km

調査区間 国道147号

安曇野市～大町市

約15km

H11.12.17指定

調査区間

小谷村

約4km

H17.3.25指定

国道148号

調査区間

平岩 ～ 根知 ～ 糸魚川

約8km

約9km

H11.12.17指定

H17.3.25指定

白馬村市街地、大町市市街地は未だ「更なる調査・検討を行う区間」

国道148号の現状・課題

- 事故、災害、異常気象時の通行規制
- 線形不良(急カーブ、急勾配、狭い道幅など)
- 大型車両の通行による沿道環境の悪化

以上、新潟県作成より

- 積雪寒冷地としての対応
- フォッサマグナ(西縁の糸魚川静岡構造線)に位置

事故事例



7月26日午後5時過ぎ、糸魚川市大所の国道148号のトンネル内での事故
大型トレーラーと大型トラックの正面衝突、トラックの運転手が死亡、約8時間の全
面交通止めとなった。

雪国の道路が具備すべき要素

- 雪からの交通確保
車道、歩道

- 安全性の確保
見通し、スリップ防止

防風

雪崩予防

市街地

平野

山間地

関連施設・設備や除雪に要する費用

道路事業評価について

- 道路は、中長期にわたって多様な**ストック効果**を発現
- しかし、事業の投資効果の評価としては、**3便益**による直接効果が中心

道路が有する様々な効果

○便益

- ・走行時間短縮
- ・走行経費減少
- ・交通事故減少

道路が有する様々な効果（続き）

○便益換算手法が確立していない効果

■ 防災面の効果

- ・代替道路確保
- ・住民の安全、安心
- ・経済活動停止回避 等

■ 生活機会・交流機会の拡大

- ・観光産業の促進
- ・地域間交流・都市間交流の活性化

■ 地域産業の促進

- ・新規立地に伴う生産増加
- ・雇用・所得増大

■ 公共サービスの向上

- ・高次医療施設へのアクセス向上

■ その他の効果

親不知コミュニティロードより 四世代の道を一望



ご清聴ありがとうございました